都立光丘 高等学校 令和7年度（3学年用） 教科

地理歴史 科目 世界史探究

教科： 地理歴史 科目： 世界史探究

単位数： 4 単位

対象学年組： 第 3 学年 3・4組 5・6 組

使用教科書：（ 高等学校 世界史探究 第一学習社 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】日本と世界との歴史について諸資料を活用する力や歴史的事象に関する理解力を育成する。

【思考力、判断力、表現力等】日本と世界の歴史について諸資料を基に多面的・多角的に考察し、自身の考えを表現する力を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】持続可能な社会の実現に向けて現代社会の抱える諸課題を歴史的視点から解決する姿勢を養う。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>I 部 諸地域の歴史的特質の形成</p> <p>第1章 文明の成立と古代文明の特質</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもな古代文明の立地について考察し、文明が生まれるために必要だった条件を理解する。 ・南アジア最古の文明であるインダス文明が栄えた場所の特徴を理解する。 ・殷と周の支配形態を比較し、共通点と相違点を理解する。 ・北米と中南米の先住民社会を比較し、共通点と相違点を理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市国家に富や権力が集まった理由を多面的・多角的に考察し表現する。 ・東アジアでは、気候の異なる地域が混在していたことを理解し、それぞれの気候が各地の生業などに与えた影響を考察し表現する。 ・中南米にさまざまな先住民文明が栄えたことを理解し、そこでの支配の在り方を多面的・多角的に考察し表現する。 	<p>【指導事項】</p> <p>I 部 諸地域の歴史的特質の形成</p> <p>第1章 文明の成立と古代文明の特質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文明の誕生 ・古代オリエント文明とその周辺 ・南アジアの古代文明 ・中国の古代文明 ・南北アメリカ文明 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校 世界史探究（第一学習社） ・一人1台端末の活用 ・プリント 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解している。 ・南アジアが南北に大きく二分されること、それぞれの風土に適合した生活が古くから営まれていたことを理解している。 ・東アジア各地の風土が、それぞれの地で多様な生業とそれに基づく先史文化を生み出したこと、各地で人々の移動や交流がおこなわれたことを理解している。 ・南北に長く広がるアメリカ大陸の各地で、それぞれの地域の環境に適応した文化・文明が発展したことを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンムラビ法典や『旧約聖書』などの資料をもとに、当時の社会の特徴や世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ・青銅器や獣骨など考古学的資料や『春秋左氏伝』などの資料をもとに、当時の政治や支配のあり方を多面的・多角的に考察し表現している。 ・南北アメリカ文明に共通する特徴、とくにユーラシアやアフリカの古代文明とは異なるものを多面的・多角的に考察し表現している。 	○	○	○	8
<p>I 部 諸地域の歴史的特質の形成</p> <p>第2章 中央ユーラシアと東アジア世界</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊牧国家の興亡がユーラシア大陸の東西にもたらした変動を理解する。 ・新たに現れた「皇帝」の特質について、それまでの「王」と比較しながら理解する。 ・遊牧民族の動きと魏晋南北朝の動乱との関係について理解する。 ・唐の制度や文化が近隣諸国に与えた影響について理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・騎馬遊牧民が強大な国家を築くことができた理由を多面的・多角的に考察し表現している。 ・統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・安史の乱前後の唐の制度や社会の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 	<p>【指導事項】</p> <p>I 部 諸地域の歴史的特質の形成</p> <p>第2章 中央ユーラシアと東アジア世界の世界</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央ユーラシアー草原とオアシスの世界 ・秦・漢帝国 ・中国の動乱と変容 ・東アジア文化圏の形成 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校 世界史探究（第一学習社） ・一人1台端末の活用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央ユーラシアの厳しい環境に適応した遊牧民やオアシス民の生活のありさまや、彼らの周辺の諸勢力との関係を理解している。 ・秦・漢といった統一国家の支配体制について、それまでの春秋・戦国時代と比較したうえで理解している。 ・魏晋南北朝の動乱がどのように展開したのかについて、遊牧民族との関わりもふまえたうえで理解している。 ・隋・唐の社会や制度、支配体制について、それまでの時代や他の地域との違いや、時期ごとの変化をふまえたうえで理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風土を示す写真や『史記』匈奴列伝などの資料をもとに、中央ユーラシアの人々の動向が、世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ・兵馬俑や青銅貨幣など考古学的資料や『塩鉄論』禁耕などの資料をもとに、秦・漢の時代に生じた地域間の結びつきの変化や、統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ・壁画などの図像資料や『旧唐書』輿服志などの資料をもとに、隋・唐の社会の特徴や近隣諸国への影響を多面的・多角的に考察し表現している。 	○	○		6
定期考査						1

<p>I部 諸地域の歴史的特質の形成 第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南アジア最初の統一王朝であるマウリヤ朝のもとの仏教の発展について理解する。 ・8～10世紀の諸勢力が割拠した時代における各地の政権の政策を理解する。 ・東南アジアの風土について他のアジアや日本と比較したうえで理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「海の道」の交易における南インドの役割を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ヒンドゥー教が南アジアの社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現する。 ・東南アジアと南アジア・中国との関係を多面的・多角的に考察し表現する。 	<p>【指導事項】</p> <p>I部 諸地域の歴史的特質の形成 第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仏教の成立と南アジアの統一国家 ・インド古典文化とヒンドゥー教の定着 ・東南アジア世界の形成と展開 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校 世界史探究（第一学習社） ・一人1台端末の活用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南アジアで生まれたさまざまな宗教が、南アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響を理解している。 ・インド古典文化の黄金期とされるグプタ朝において、文化がどのように展開したのかを理解している。 ・東南アジアの大陸部と諸島部において、どのように国家が形成されたのかを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インド洋航海図（地図）や『エリュトゥラー海案内記』などの資料をもとに、インド洋交易の広がりを多面的・多角的に考察し表現している。 ・それまで仏教やジャイナ教が盛んだったことをふまえたうえで、ヒンドゥー教が社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現している。 ・東南アジアの風土や地形をふまえたうえで、南アジアや中国との関係およびその変遷を多面的・多角的に考察し表現している。 	○	○	4
<p>I部 諸地域の歴史的特質の形成 第4章 西アジアと地誘拐周辺の国家形成</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポリスの特徴およびそこでの人々の生活について、オリエントの都市国家と比較したうえで理解する。 ・民主政発達の経緯および現代の民主主義との相違点について理解する。 ・地中海における領土拡大がローマ共和政に与えた影響を理解する。 ・キリスト教の成立の経緯を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バルティアとササン朝が東西の文明の間で担った役割を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ヘレニズム時代の歴史的意義を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ローマ帝国の文化的意義を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ローマ帝国によるキリスト教への対応を多面的・多角的に考察し表現する。 	<p>【指導事項】</p> <p>I部 諸地域の歴史的特質の形成 第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラン国家の興亡とイラン文明 ・ギリシア人の都市国家 ・ローマと地中海支配 ・キリスト教の成立と発展 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校 世界史探究（第一学習社） ・一人1台端末の活用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アテネにおいてどのような経緯で民主政が出現したのか、またギリシア文化にはどのような特徴があるのかを理解している。 ・ローマがどのような経緯で都市国家から帝国にいたったのか、またローマ人の文化にはどのような特徴があるのかを理解している。 ・勢力を拡大させていたキリスト教をローマ帝国がどのように利用しようとしたのかを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ササン朝と法隆寺の「獅子狩」図案などの資料をもとに、イラン文明が世界の諸地域に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ・オストラコンなどの考古学的資料や「ペリクレスの演説」などの資料をもとに、ギリシアの人の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 ・モザイク画などの画像資料や「神皇アウグストゥス業績録」などの資料をもとに、ローマが地中海世界を統一し、それを維持できた理由を多面的・多角的に考察し表現している。 ・当時の地中海世界の状況をふまえたうえで、キリスト教が急速に広がった理由を多面的・多角的に考察し表現している。 	○	○	8
<p>I部 諸地域の歴史的特質の形成 第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウマイヤ朝の領域的な広がりとその支配の特徴を理解する。 ・アッバース朝成立の背景とその統治の特徴を理解する。 ・ビザンツ帝国の繁栄について、同時期の西ヨーロッパと比較したうえで理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム政権の多極化が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ローマ教会とフランク王国の関係を多面的・多角的に考察し表現する。 <p>【主体的に学習に取り組む姿勢】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カールの戴冠が世界の歴史において持つ意義について探究する。 	<p>【指導事項】</p> <p>I部 諸地域の歴史的特質の形成 第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アラブの大征服とイスラーム政権の成立 ・ヨーロッパ世界の形成 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校 世界史探究（第一学習社） ・一人1台端末の活用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム教がどのように成立し、短期間で勢力を拡大していったのかを理解している。 ・西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形づくっていったのかを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム政権の拡大を示す地図やアラバスクなどの画像資料などをもとに、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ・荘園の構造を示す概念図や『ガルベール＝ド＝ブリュージュの日記』などの資料をもとに、西ヨーロッパに成立した封建社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む姿勢】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ世界の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 	○	○	6
<p>II部 諸地域の交流・再編 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム化が中央アジアにもたらした変化について理解している。 ・アジア諸地域におけるイスラーム教の影響について理解している。 ・イベリア半島におけるイスラーム勢力の興亡について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十字軍やモンゴルの進出が西アジアにもたらした影響について考察し表現している。 	<p>【指導事項】</p> <p>II部 諸地域の交流・再編 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム教の諸地域への伝播 ・西アジアの動向 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校 世界史探究（第一学習社） ・一人1台端末の活用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカの各地でどのようにイスラーム化が進んだのかを理解している。 ・アッバース朝衰退後の西アジアにおいて、政治的統一は失われたが、経済・文化の交流を通じてイスラーム教徒（ムスリム）の連帯が維持されたことを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トルコ人の進出・十字軍遠征・モンゴル勢力の襲来といった外圧が、西アジアの社会へおよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 	○	○	3
<p>定期考査</p>					1

<p>II部 諸地域の交流・再編 第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中世の西ヨーロッパにおいてローマ＝カトリック教会が普遍的な権威を持つにいたった背景を理解する。 ・スラヴ人が各地域で自立していった経緯を理解する。 ・教皇権の衰退と王権の伸張の関係について理解する。 ・スペインで国王による中央集権化が早く進んだのはなぜか理解する。 ・中世の西ヨーロッパにおいてキリスト教が果たした文化的役割を理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十字軍の遠征の経緯を理解し、それが社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ビザンツ帝国の衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ・封建社会が解体に向かった背景を多面的・多角的に考察し表現する。 	<p>【指導事項】</p> <p>II部 諸地域の交流・再編 第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西ヨーロッパの封建社会とその展開 ・東ヨーロッパ世界の展開 ・西ヨーロッパ世界の変容 ・西ヨーロッパの中世文化 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校 世界史探究（第一学習社） ・一人1台端末の活用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中世の西ヨーロッパで発達した商業の活動状況とその特徴について、従来との比較をふまえて理解している。 ・ビザンツ帝国の衰退の過程と、その周辺のスラヴ人および非スラヴ人の動向について理解している。 ・封建社会の衰退と教皇権の衰退の過程および中央集権国家に向けた西ヨーロッパ各国の動きを理解している。 ・中世の西ヨーロッパの文化について、キリスト教の影響が大きかったことを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中世都市の景観を示す画像資料や当時の交通路を示す地図をもとに、十字軍が西ヨーロッパに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ・西ヨーロッパやイスラーム勢力との関係をふまえたうえで、ビザンツ帝国の衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現している。 ・大憲章や金印勅書などの資料をもとに、中央集権国家の形成に向けた各国の動きの共通点と相違点を多面的・多角的に考察し表現している。 	○	○	8
<p>II部 諸地域の交流・再編 第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10世紀前半に東アジアで政権の交替があいついだ背景や、そこで成立した諸国の共通点を理解する。 ・モンゴル帝国による支配が東アジアにおよぼした影響について理解する。 ・モンゴル帝国解体の要因を理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宋の対外関係の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 ・モンゴル帝国時代の東西交流の新鮮さを多面的・多角的に考察し表現する。 	<p>【指導事項】</p> <p>II部 諸地域の交流・再編 第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸地域の自立化と宋 ・モンゴルの大帝国 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校 世界史探究（第一学習社） ・一人1台端末の活用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10～12世紀の東アジアの情勢について、東アジア内の交流と再編を中心に理解している。 ・モンゴル帝国がどのように成立し、解体したのか、そして帝国の支配は社会にどのような影響を与えたのかを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「清明上河図」などの画像資料や荘練『鶏肋編』などの資料をもとに、宋代の経済発展が社会に引きおこした変化を多面的・多角的に考察し表現している。 ・モンゴル帝国の最大領域を示す地図や「混一疆理歴代国都之図」などの画像資料をもとに、モンゴル帝国の成立世界史的な意義を多面的・多角的に考察し表現している。 	○	○	4
<p>第2章 結びつくユーラシアと諸地域</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア海域での交易の興隆、明と日本・朝鮮の動向、スペインとポルトガルの活動などを基に、諸地域の交易の発展とヨーロッパの進出を構造的に理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、アジア海域での交易の特徴、ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 	<p>【指導事項】</p> <p>第2章 結びつくユーラシアと諸地域 第4節 15～16世紀のアジア海域での交易の興隆 第5節 明と東アジアの動向 第6節 スペインとポルトガルの活動</p> <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校 世界史探究（第一学習社） ・一人1台端末の活用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア海域での交易の興隆、明と日本・朝鮮の動向、スペインとポルトガルの活動などを基に、諸地域の交易の発展とヨーロッパの進出を構造的に理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、アジア海域での交易の特徴、ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 	○	○	4

<p>二期</p>	<p>II部 諸地域の交流・再編 第11章 近世ヨーロッパ世界の動向</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルネサンスの担い手や彼らの動機について理解する。 ・カルヴァンの教えの特徴やイギリス国教会の成立の意義を理解する。 ・16世紀後半のスペイン・イギリス・フランスの関係を理解する。 ・17世紀における2つのイギリスの革命について、国際的な状況もふまえて理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルネサンスを支えた精神の特徴を理解し、それが後世に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・それまでの教会改革の試みと16世紀の宗教改革の違いを多面的・多角的に考察し表現する。 ・主権国家体制の成立の経緯を多面的・多角的に考察し表現する。 ・プロイセンとオーストリアの関係の推移を多面的・多角的に考察し表現する。 <p>【主体的に学習に取り組む姿勢】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カトリック改革が持つ世界史的な意義を多面的・多角的に考察し表現する。 ・従来の学知の展開と比較したうえで、「実用の学」としての啓蒙思想の意義を理解する。 	<p>【指導事項】</p> <p>II部 諸地域の交流・再編 第11章 近世ヨーロッパ世界の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルネサンス ・宗教改革 ・主権国家体制の成立 ・オランダ・イギリス・フランスの台頭 ・北欧・東欧の動向 ・科学革命と啓蒙思想 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校 世界史探究（第一学習社） ・一人1台端末の活用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルネサンスの特徴や広がり、それが後世に与えた影響を理解している。 ・新しい宗派の成立過程やその後のヨーロッパの宗教分布を理解している。 ・主権国家および主権国家体制の成立について、それまでのヨーロッパの状況と比較したうえで理解している。 ・オランダ・イギリス・フランスがそれぞれ持った有利な点や課題を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術作品の図像などの資料をもとに、ルネサンスの新しいさと古さを多面的・多角的に考察し表現している。 ・「九十五カ条の論題」や『キリスト者の自由』などの資料をもとに、宗教改革の動きが広まった要因を多面的・多角的に考察し表現している。 ・ウェストファリア条約の内容や当時の戦争の様子を示す図像資料をもとに、主権国家体制の成立と戦争の関係を多面的・多角的に考察し表現している。 ・ロシア・プロイセン・オーストリアの状況と比較したうえで、啓蒙専制主義による改革が各国におよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む姿勢】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宗教改革について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ・科学革命と啓蒙思想について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 	○	○	○	6
<p>定期考査</p>							1
	<p>III部 諸地域の結合・変容 第12章 産業革命と環大西洋革命</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・16世紀に始まった「世界の一体化」とイギリス産業革命との関係について理解する。 ・独立直後と今日のアメリカ合衆国を比較し、共通点と相違点を理解する。 ・革命中のフランス国家体制の変遷や革命が諸外国に与えた影響を理解する。 ・中南米諸国の独立運動に共通する点を理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・アメリカ合衆国の独立がヨーロッパ諸国に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ナポレオンの支配に対する人々の反応を多面的・多角的に考察し表現する。 <p>定期考査</p>	<p>【指導事項】</p> <p>III部 諸地域の統合・変容 第12章 産業革命と環大西洋革命</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業革命 ・アメリカ合衆国の独立と発展 ・フランス革命とナポレオンの支配 ・中南米諸国の独立 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校 世界史探究（第一学習社） ・一人1台端末の活用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業革命が18世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開を理解している。 ・アメリカ合衆国がどのような歴史的経緯をたどって独立したのかを理解している。 ・フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景を理解している。 ・中南米諸国の独立がどのような経緯をたどって表現したのかを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当時の工場の様子を描いた図像資料や都市の人口を示す統計をもとに、産業革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ・アメリカ独立宣言や「権利の章典」（第11章4節）などの資料をもとに、アメリカ合衆国独立の独自性を多面的・多角的に考察し表現している。 ・「旧体制」の風刺画などの図像資料や人権宣言などの資料をもとに、フランス革命において「国民」を主役とする社会が創出されたことについて、多面的・多角的に考察し表現している。 	○	○		12
	<p>定期考査</p>						1

2 学 期	<p>Ⅲ部 諸地域の統合・変容 第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウィーン会議の参加者たちがどのような国際秩序を目指していたかを理解する。 ・クリミア戦争におけるロシア・イギリス・フランスのそれぞれの思惑を理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1848年革命の展開と影響について、ヨーロッパ内の地域差に着目して多面的・多角的に考察し、表現する。 ・ドイツ帝国におけるビスマルクの諸政策の動機を多面的・多角的に考察し表現する。 ・アメリカ合衆国の歴史において移民が持つ意味を多面的・多角的に表現する。 ・国民文化と国民国家形成との関係を多面的・多角的に考察し表現する。 	<p>【指導事項】</p> <p>Ⅲ部 諸地域の統合・変容 第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 ・列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 ・アメリカ合衆国の発展 ・19世紀欧米文化の展開と市民文化の反映 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校 世界史探究（第一学習社） ・一人1 台端末の活用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・19世紀前半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、ウィーン体制や1848年革命、さまざまな主義主張の特徴とあわせて理解している。 ・19世紀後半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、時代的な背景や各国の共通点・相違点もふまえて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウィーン会議後のヨーロッパを示す地図や会議を風刺した図像資料などをもとに、ウィーン会議がヨーロッパ各地の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ・鉄道距離の推移を示す統計やイタリアとドイツの統一を示す地図などをもとに、19世紀後半にヨーロッパの再編成が進んだ背景を多面的・多角的に考察し表現している。 ・アメリカ合衆国の領土拡大を示す地図や大陸横断鉄道開通の写真などの図像資料をもとに、アメリカ合衆国の急速な発展の要因を多面的・多角的に考察し表現している。 ・19世紀欧米文化のさまざまな事例をもとに、この時期の文化と現代の文化とのつながりを多面的・多角的に考察し表現している。 	○	○	8
	<p>Ⅲ部 諸地域の統合・変容 第14章 アジア諸地域の動揺</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オスマン帝国の改革の成果と課題を理解する。 ・東インド会社の統治と比較したうえで、イギリスによるインドの直接統治の特徴を理解する。 ・東南アジアの植民地化の経緯を理解する。 ・中国の開港の背景および開港の進展の経緯を理解する。 ・清朝による国内秩序の再建の試みについて、その成果と課題を理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロシアとイギリスの競合関係が西アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・欧米諸国の進出と日本の台頭が東アジア諸国間の関係に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 	<p>【指導事項】</p> <p>Ⅲ部 諸地域の統合・変容 第14章 アジア諸地域の動揺</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西アジア地域の変容 ・南アジア・東南アジアの植民地化 ・東アジアの激動 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校 世界史探究（第一学習社） ・一人1 台端末の活用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オスマン帝国・イラン・アフガニスタンにおける動揺や改革の推移を、ヨーロッパ列強との関係ともあわせて理解している。 ・ヨーロッパ各国による南アジアと東南アジアの植民地化の経緯を理解している。 ・欧米諸国の進出の経緯と東アジア諸国の改革の試みの成果や課題を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マムルークの一掃を表した図像資料やオスマン帝国憲法などの資料をもとに、この時期のアジア各地での変化や改革について多面的・多角的に考察し表現している。 ・文字資料「マカートニーの1794年1月の日記」やアヘン戦争を描いた図像資料、東アジアの開港場を示した地図などをもとに、この時期の東アジア国際秩序の変容について多面的・多角的に考察し表現している。 	○	○	16
	<p>定期考査</p> <p>Ⅲ部 諸地域の統合・変容 第15章 帝国主義とアジアの民族運動</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各列強が抱えていた国内事情とその課題を理解する。 ・列強による太平洋地域の植民地化の経緯を理解する。 ・アジア各地の民族運動に共通する傾向を理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帝国主義の支配を受けた地域における社会や文化の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ・20世紀初頭における列強体制の枠組みの変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ・日清戦争と日露戦争が中国および東アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 	<p>【指導事項】</p> <p>Ⅲ部 諸地域の統合・変容 第15章 帝国主義とアジアの民族運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2次産業革命と帝国主義 ・列強の世界分割と列強体制の二分化 ・アジア諸国の変革と民族運動 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校 世界史探究（第一学習社） ・一人1 台端末の活用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2次産業革命が社会に与えた影響や帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大の経緯を理解している。 ・列強による世界分割がどのように進められたかや列強体制の変化について理解している。 ・アジア各地における改革や民族運動がどのように展開し、いかなる結果をもたらしたのかを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際情勢を風刺した図像資料や「白人の責務」などの資料をもとに、欧米列強が植民地や勢力圏の拡大を争った背景を多面的・多角的に考察し表現している。 ・列強の植民地・勢力圏を示した地図や帝国主義を風刺した図像資料をもとに、列強による世界分割が各地に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ・アジア各地の情勢や梁啓超「中国積弱の根源について」などの資料をもとに、アジア各地の変革や民族運動の背景を多面的・多角的に考察し表現している。 	○	○	1
	<p>Ⅲ部 諸地域の統合・変容 第16章 第一次世界大戦と世界の変容</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦に至った民族対立や宗教対立と大戦の特徴について理解する。 ・第一次世界大戦後の新たな国際秩序の建設と各国の協調体制について理解する。 ・第一次世界大戦後のアジア諸地域で起きた民族運動について理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦がもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・西欧諸国における第一次世界大戦後の展開を多面的・多角的に考察し表現する。 ・第一次世界大戦が東アジアの政治・経済・文化に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 	<p>【指導事項】</p> <p>Ⅲ部 諸地域の統合・変容 第16章 第一次世界大戦と世界の変容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ・アジア・アフリカ地域の民族運動 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校 世界史探究（第一学習社） ・一人1 台端末の活用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦とロシア革命がどのように展開したのかを、戦時外交や総力戦の特徴、大戦のもたらした結果などとあわせて理解している。 ・第一次世界大戦後に形成された国際秩序の内容やその特徴、その後の国際関係の変化について理解している。 ・第一次世界大戦がアジア・アフリカの各地に与えた影響を理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塹壕戦やさまざまな新兵器、軍需工場働く女性の図などの第一次世界大戦に関する図像資料および「平和に関する布告」などの資料をもとに、第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容を多面的・多角的に考察し表現している。 ・各国の国内情勢を写した図像資料や「十四カ条」などの資料をもとに、1920年代の欧米各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。 ・民族運動の様子を写した図像資料や胡適「文学革命についての書簡」などの資料をもとに、アジア・アフリカ各地の民族運動の特徴や共通性を多面的・多角的に考察し表現している。 	○	○	8

	<p>Ⅲ部 諸地域の統合・変容 第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌によって各国がとった経済体制の特徴について理解する。 ・ヨーロッパにおける第二次世界大戦の展開を理解する。 ・冷戦開始および東西ヨーロッパ分断の進展について、それぞれの経緯を理解する。 ・東南アジアおよび南アジアの独立の背景や経緯を理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独ソ戦および太平洋戦争の開戦が第二次世界大戦にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・第一次世界大戦と比較したうえで、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 <p>定期考査</p>	<p>【指導事項】</p> <p>Ⅲ部 諸地域の統合・変容 第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 ・第二次世界大戦 ・新しい国際秩序の形成 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校 世界史探究（第一学習社） ・一人1台端末の活用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌が国際関係に与えた影響や各国の対応策、およびヴェルサイユ体制の崩壊にいたる経緯やファシズム諸国・日本の動きについて理解する。 ・第二次世界大戦の対立の構図と勃発から終戦までの経緯を理解する。 ・第二次世界大戦後に形成された国際秩序の特徴を、それ以前との相違点をふまえて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦場を写した図像資料や「大西洋憲章」などの資料をもとに、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 	○	○		6
	○	○		1			
3 学 期	<p>Ⅳ部 地球世界の課題 第18章 冷戦と第三世界の台頭</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米ソそれぞれの同盟網の広がりや核開発戦争の経緯や西欧の日本の経済復興の背景を理解する。 ・国際社会が核兵器の制限に取り組むようになった経緯を理解する。 ・米ソ代理戦争の勃発と国際情勢との関係を理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦の進展がアメリカ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・1960年代におけるアメリカ合衆国とソ連のそれぞれの変容を多面的・多角的に考察し表現する。 	<p>【指導事項】</p> <p>Ⅳ部 地球世界の課題 第18章 冷戦と第三世界の台頭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦の展開 ・第三世界の台頭とキューバ危機 ・冷戦体制の動揺 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校 世界史探究（第一学習社） ・一人1台端末の活用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦がどのように進展したのかを、各国の社会に与えた影響や核開発の動きなどとあわせて理解している。 ・冷戦のもとで第三世界の台頭がどのように進んだのかや、キューバ危機を経て国際社会が核兵器の制限にどのように取り組んだのかを理解している。 ・ベトナム戦争をはじめとする1960年代以降の冷戦体制の動揺やその推移を、米ソの代理戦争としての視点や各国における変化をふまえて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進国の平均経済成長率を示した統計資料や「スターリン批判」などの資料をもとに、冷戦下における東西両陣営の社会の変容を多面的・多角的に考察し表現している。 ・1960年代の各地の様子を写した図像資料や「チェコスロヴァキア共産党行動綱領」などの資料をもとに、冷戦の動揺が各地にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 	○	○		5
	○	○					
	<p>Ⅳ部 地球世界の課題 第19章 冷戦の終結と今日の世界</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1970年代初頭に世界経済がいかなる転換を迎えたのかを理解する。 ・東西対立の緩和が東アジアやアフリカなど諸地域にもたらした影響を理解する。 ・冷戦終結後も続く地域・民族紛争の背景や経緯を理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オイルショックが各国の社会と経済に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 <p>【主体的に学習に取り組む姿勢】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の国際関係の特徴と、必要とされている協力の内容を理解し、現代社会が直面する課題について解決策を追究する。 <p>定期考査</p>	<p>【指導事項】</p> <p>Ⅳ部 地球世界の課題 第19章 冷戦の終結と今日の世界</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業構造の変容 ・冷戦の終結 ・今日の世界 ・現代文明の諸相 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校 世界史探究（第一学習社） ・一人1台端末の活用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1960～1980年代の各国の経済や社会の状況を、経済構造の変化をふまえて理解している。 ・冷戦がどのような過程をたどって終結したのかを理解している。 ・冷戦終結後の各地の状況や地域・民族紛争、経済における世界の一体化について、国際情勢をふまえたうえで理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原油価格の推移や経済成長率の推移などの統計資料をもとに、オイルショックが世界の社会と経済に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む姿勢】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の世界が抱えている課題について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 	○	○	○	4
	○	○		1			
							135